

構造生物学と計算科学の融合による動的構造生物学の新しい展開

日時：平成30年9月26日(水)～27日(木) 会場：大阪大学蛋白質研究所1階講堂

9月26日(水)

13:00	開会の辞	中川 敦史 (阪大・蛋白研)
	Session 1	座長：白水 美香子 (理研 BDR)
13:10	RNAポリメラーゼIIによるクロマチン転写のメカニズム	関根 俊一 (理研 BDR)
13:35	クライオ電子顕微鏡を用いたタンパク質の動的機能構造解析	川本 晃大 (阪大・蛋白研)
14:00	Cryo-EM with and without phase plates	Radostin Danev (東大・院医)
14:25	Break	
	Session 2	座長：山本 雅貴 (理研 RSC)
14:45	回折データの量的変化がもたらした構造情報の質的变化 ～自動データ収集の現状～	平田 邦生 (理研 RSC)
15:10	核外輸送タンパク質Exportin-5による積荷分子の選択的結合のための構造基盤	山下 栄樹 (阪大・蛋白研)
15:35	動的構造生物学によるクロマチン機能解析	胡桃坂 仁志 (東大・定量研)
16:00	Break	
	Session 3	座長：杉田 有治 (理研)
16:20	ヌクレオソームと転写制御の動構造：分子シミュレーションによるアプローチ	高田 彰二 (京大・院理)
16:45	Flexible docking and affinity calculation between CDK2 and its inhibitor using multicanonical MD	Gert-Jan Bekker (阪大・蛋白研)
17:10	クライオ電顕フィッティングによる大規模生体分子系の構造精密化	森 貴治 (理研)
17:35	NVセンターの生命科学計測への適用	原田 慶恵 (阪大・蛋白研)
18:00	懇親会 於：ラ・シェーナ	

9月27日(木)

	Session 4	座長：後藤 祐児 (阪大・蛋白研)
9:30	NMRによる細胞環境におけるタンパク質の構造動態解析	木川 隆則 (理研 BDR)
9:55	SAIL-NMR法による高分子量蛋白質の動態解析法の開発	宮ノ入 洋平 (阪大・蛋白研)
10:20	固体NMR実験データと立体構造予測法を融合したタンパク質立体構造解析	田巻 初 (阪大・蛋白研)
10:45	Break	
	Session 5	座長：上田 昌宏 (阪大・院理)
11:05	キネシンの結合による微小管の動的構造変化	岡田 康志 (理研 BDR・東大院理)
11:30	高速AFMと計算科学の融合の試み	古寺 哲幸 (金沢大・WPIナノ生命科学)
11:55	Lunch	
	Session 6	座長：中川 敦史 (阪大・蛋白研)
13:00	SACLA時分割構造解析の展望と課題	久保 稔 (兵庫県大・院生命理)
13:25	フェレドキシンの関与した動的電子伝達複合体の構造地図	栗栖 源嗣 (阪大・蛋白研)
13:50	胃プロトンポンプの結晶構造によって明らかになったH ⁺ 排出機構	阿部 一啓 (名大・細胞生理)
14:15	総合討論	座長：山本 雅貴 (理研RSC) 栗栖 源嗣 (阪大・蛋白研)
14:45	閉会の辞	杉田 有治 (理研)